

ITEM 2018 報告

国立大学法人北海道大学病院 診療技術部 放射線部門 笹木 工

例年は会場横の歩道にわずかに残っている桜を見ることができるのだが今年は全くなかった。JRC / ITEM 開催前にすでに散ってしまったようである。通勤途中にある桜の枝にはまだかたい蕾のままでは花びらがらないことでは同じであるが、似て非なる状態の横浜と札幌である。

今年は「キヤノンメディカルシステムズ」になって初めての ITEM であった。旧東芝に加えてキヤノンも加わったこともあってか、例年より広い展示ブースとなった。右を見ても左を見てもキヤノンブースである。「例年のブースに加えて CT の展示場所が新たに増えた」と言えば、一度訪れたことがある人であればお分かりだろうか？

キヤノンブースでのイチオシは、やはりというべきか AI (Artificial Intelligence, 人工知能) 関連の製品で、画像再構成に応用した、「AiCE (Advanced Intelligent Clear-IQ Engine, エース)」であろう。AI の技術のひとつである、Deep learning を用いて設計した再構成技術とのことだ。複雑なモデルや繰り返し演算の結果を組み込んでいるため、FIRST より短時間での画像再構成ができるようである。詳しいことは、キヤノンメディカルシステムズの Web site を訪れるか、担当者にたずねてほしい。

AiCE, エース, えーす.....と言って思い出すのは 2 つある。

ひとつは「エースをねらえ」である。スポ根漫画の女子版だ。主人公の岡ひろみが宗方コーチにみいだされ成長していく過程を描いた作品である。「お蝶夫人」も忘れてはならない。再放送ではないライブで見ていた年代としては「エース」というネーミングは感慨深いものがある。

もうひとつ。「オレは A (エース) !」, 「切り札 (エース) だ!」と

言った、コブラである。「ギャラクシーナイツ」という一節で、ある城の奪還のために送られてきた案内状の中に入っていたトランプ（スペード）のカード。城に向かう途中の列車の上でスペードのエース越しに、自慢のサイコガンで敵を倒した時に言った台詞である。

小部屋の中で 8k モニターを前に AiCE の説明を T 島さんから受けながら、私の頭の中には岡ひろみとコブラがいた。